

2021年10月20日

横浜ゴムの新商品「iceGUARD 7」が 2021 年度グッドデザイン賞を受賞

横浜ゴム（株）の乗用車用スタッドレスタイヤ「iceGUARD 7（アイスガード・セブン）」が 10 月 20 日、2021 年度グッドデザイン賞を受賞しました。

「iceGUARD 7」は「YOKOHAMA スタッドレスタイヤ」の第 7 世代の新商品で、「アイスガード」が一貫して追求してきた「氷に効く＝氷上性能」を向上させたほか「雪に効く＝雪上性能」もレベルアップしたタイヤです。従来品で定評のあった「永く効く＝性能持続性」も兼ね備えています。両立が難しい氷上性能と雪上性能をバランスさせるとともに、スタッドレスタイヤの課題であった性能持続性も併せ持った点が評価されました。

横浜ゴムは 2021 年度から 2023 年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）のタイヤ消費財事業において高付加価値商品の主力であるグローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN」、SUV・ピックアップトラック用タイヤブランド「GEOLANDAR」、そして「ウィンタータイヤ」の販売構成比率最大化を掲げています。タイヤ商品では 2016 年から 6 年連続でグッドデザイン賞を受賞しており、「ADVAN」は 2 商品、「GEOLANDAR」は 6 商品、ウィンタータイヤは今回の「iceGUARD 7」を加えて 2 商品が受賞するなど当社の高付加価値商品はこれまでも高い評価を得ています。

「グッドデザイン賞」は公益財団法人日本デザイン振興会が主催する総合的なデザイン評価推奨制度で、国内外の多くの企業や団体が参加しています。グッドデザイン賞受賞作品には優れたデザイン性を象徴する「Gマーク」の使用が認められます。

<審査員からのコメント>

同社の乗用車用スタッドレスタイヤ iceGUARD は、路面凍結による氷対策を重要視してきたが、4 年ぶりのこの新製品は、氷対策と相反する作用が必要な雪対策にも新境地を開いたものである。具体的には、接地面積が重要な氷対策を重視しながら、溝とサイプのエッジ量で雪に効かすことを達成している。また、耐久性が課題であったスタッドレスタイヤのゴムの硬化を抑え、摩耗時のサイプの太さを変えることで「永く効く」性能も兼ね備えた。



2021 年度グッドデザイン賞の受賞作品に
使用が認められる G マークロゴ

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田

TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570